

令和2年度 第1回 安曇野暮らし支援協議会 会議概要

1	審議会名	令和2年度 第1回 安曇野暮らし支援協議会...
2	日 時	令和2年8月5日 午前10時00分から午前11時25分まで...
3	会 場	安曇野市役所3階 共用会議室307...
4	出席者	望月委員(会長)、北林委員、峯村委員、高井委員、青柳委員、宮崎委員、横田委員、五味委員、萩原委員...
5	市側出席者	野口政策経営課長、赤沼政策経営課長補佐、藤原企画担当主査、小倉企画担当主査
6	公開・非公開の別	公開...
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年8月5日...

協 議 事 項 等

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 令和2年度からの当協議会の体制について
 - (2) 安曇野暮らし支援協議会 HP の現況について
- 4 協議事項
 - (1) おためし住宅の今後の運用方法について
 - (2) 令和2年度の事業スケジュールについて
 - (3) その他
- 5 閉会

会議概要

- 1 報告事項
 - (1) 令和2年度からの当協議会の体制について
【事務局から、令和2年度の協議会の体制について説明】
 - (2) 安曇野暮らし支援協議会 HP の現況について
【HP の現況について説明】
(HP の現況について、アクセス件数が伸びていないことや、直帰率(ユーザーがサイトを訪問後、1ページも展開せずにサイトを離脱してしまった割合)が高いことなどが課題となっている。また、近年はスマートフォンの利用が定着しつつあり、スマートフォンを利用した閲覧率が高まっている。)
 - ・どんなコンテンツがどこにあるのかが分かりにくくなっているため、それがアクセスの伸び悩みの要因の1つだと思う。
 - ・トップページに過去のイベントの情報が出てくるので、ここは改善したほうがよいのではないか。
 - ・ホームページを改良するのであれば、ワーキングチームのようなものを作ったらどうか。
 - ・安曇野暮らし支援協議会のサイトは、移住促進につながるように移住までのステップ等を示すものであることが望ましい。今後、市が作成していく予定の、市のPRに主眼を置いたシティプロモーションのサイトとの連携方法も考えていく必要があると思う。また、

安曇野暮らし支援協議会のサイトの見直しにあたっては、専門家から助言ももらいながら進めていくほうがよいのではないかと。空き家対策室などの職員にも関わってもらうことも考えてほしい。

【安曇野暮らし支援協議会 HP については庁内連携を図り、専門家の視点も取り入れながら改修を計画していくこととなった。】

2 協議事項

(1) おためし住宅の今後の運用方法について

【事務局からおためし住宅の現状について説明】

- ・観光目的ではないかと思われる利用者もいるということだが、観光目的の人と移住を真剣に考えている人との間には当然ギャップがあるので、切り分けていくことが必要。当協議会は官民一体の組織であるので、各団体がそれぞれ得意分野を持っている。その得意分野をメニューという形で加えてもらって、おためし住宅利用者にメニューを選択してもらおうということも考えていってもよいと思う。また、メニューを有料として、得た収入をおためし住宅の運用に係る経費に充当していくという方法も検討してみしてほしい。
- ・不動産や仕事、地域のことなど、さまざまな分野の相談があると思うので、各団体で何ができるかということも考えてみてもらいたいと思う。
- ・おためし住宅の利用者に、何を聞きたいかといったことを事前に伺っておいて、相談内容を把握した上で対応できる団体が相談に応じていけばよいと思う。
- ・おためし住宅の中に安曇野市の移住に関する資料などを置いたり、パネルなどを用いて展示をしてみる取組はどうか。
- ・おためし住宅を利用した人が情報発信をするという取組はどうか。今はスマホを持っている方も多いので SNS 等で情報発信することを、おためし住宅利用の条件とすることも有効だと思う。
- ・おためし住宅を利用するということは「おためし暮らし」をしてもらうということである。安曇野の「おためし暮らし」をするためにさまざまなメニューがあるといった見せ方が大切。情報発信のやり方を工夫する必要がある。
- ・仮に観光目的で来ていたとしても、移住につなげていく方法もあるのではないかと。

【おためし住宅に関しては、今後メニューを複数考え、利用者を選択してもらう方法を検討していくこととなった。】

(2) 令和2年度の事業スケジュールについて

【事務局から、今後のスケジュールや、社会情勢を踏まえたセミナーや体験会の在り方などについて説明】

- ・社会情勢を見たとき、移住セミナー等の開催は難しいのではないかと。その代わりに、これまでセミナーで行ってきた移住希望者向けのプレゼンテーションや、実際に安曇野市に移住した方へのインタビューを動画撮影して配信するという方法が考えられると

思う。

- ・移住体験会の開催も今年度は難しいのではないかと思います。開催するとすれば、来年度以降としたほうがよいのではないかと。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、体験会を開催することは控えるべきだと思います。今まで体験会に協力していただいた移住者の方々もおられるので、そういった移住者の方々にも協力をいただいて、動画配信という形で進めていけばよいのではないかと思います。セミナーも体験会も、それぞれオンラインや動画を活用して取組を進めていければよいのではないかと。
- ・体験会は移住者のお宅に伺うことがメインになっているので、受け入れる移住者の立場から考えると、県外の方が複数人自宅に入ってくるという状況は受け入れがたいのではないかと思います。体験会の開催は難しい。
- ・動画は長すぎると見てもらえないので、ある程度コンパクトにまとめる必要がある。素人だけで作成するのは難しいと思うので、専門家も交えながら進めてほしい。
- ・オンラインセミナーについては、やってみないと課題も分からないので、まずは人数限定、少人数で行ってみる、試してみることが大事。
- ・360° カメラを使っておためし住宅の中や屋外などを撮影して、安曇野暮らし支援協議会のサイトにアップする方法もあるのではないかと。
- ・動画は編集をしなければならぬので大変だが、スライドショーであれば、動画ほど難しくないので活用しやすいのではないかと。

【従来通りの移住セミナーや移住体験会の開催は難しいため、オンラインや動画などの方法により、事業を進めていくこととなった。】

(3) その他

【事務局から、新たな民間団体の加入についても検討を進めていきたいことを提案】

<終了 11:25>

以上